

第3次秋田市子ども読書活動推進計画（原案）に対して寄せられた意見一覧（パブコメ）

●第IV章 子どもの読書活動推進のための取組

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	10	先日、図書館に久しぶりに行ったところ読書の記録帳が導入されており、良い取組と感心しました。	読書の記録帳事業は、子ども自身が本に親しみを持つきっかけにもなり、読書習慣の定着を効果的に支援しうる取組として実施しております。今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。
2	10～17 (3～4)	「ブックスタート推進事業」、「親子の絵本プラン」及び「かぞくぶっくぱっく事業」は、大変意義のある事業だと思います。（まさか読み聞かせに、CDは使っていませんよね。） しかし、その後に続く読書の対象として、解説入りでもかまわないので、国内外の文豪の作品を気軽に読める環境を創り、子供たちが簡単に触れることができるようにしてあげることも大事だ、と思います。そのためにも、対象となる文豪たちのバックグラウンドを指導する司書や教員がよく理解したうえで、彼らが何を訴えたいのかを解説し、子供たちが数多くの作品の中から、感銘を受ける本を探し当てる楽しさを感じれる環境を創っていただきたい。	いただいたご意見については、読書に親しむ機会を充実する取組を推進する上での参考とさせていただきます。
3	10～11	保護者への啓発は大切だと思う。親子での読書を今後も進めていけるよう、保護者側が興味関心を持っているジャンルやリクエスト等も寄せてもらい、双方向での情報提供ができると良いと思う。また、市外、県外からの転居者（家族）への積極的な働きかけをし、利用を促すと同時に、これまでと比べてどうか（地域・学校の読書環境について）という意見を寄せてもらっても良いと思う。	保護者への啓発と情報提供については、PTA等団体と連携を図り取り組むこととしております。また、市外、県外からの転居者の意見を寄せてもらうことについては、今後の読書環境の充実を図る上での参考とさせていただきます。
4	13	特別支援学校（秋大附以外は県立ですが・・・）は対象ではないのでしょうか？ こういった「教育」がらみのものは、メディアの報道にしても「小・中・高」だけ。休校さえ対象学校はニュースの中で言及されないことが多いですよね。（最近はその限りではないですが・・・）支援学校教員としては、対象ならばきちんとそう書いてほしいです。	特別な配慮を必要とする子どもへの読書活動については、図書館の取組の中で支援することとしております。 本計画は、秋田市立小・中・高等学校を対象としており、特別支援学校への取組については、県の第3次読書活動推進基本計画の中で行っているところです。

●計画全般について

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	—	<p>子ども読書活動はとても良い事とわかっていても、なかなか借りに行ったり、手に取ったりする時間や手間がない（面倒）と言いがちだと思います。仕事をしているとなおさら。</p> <p>本が身近なところであれば、あたり前のように感じるはずですが。図書館だけでなく、もっと、敷居の低い本屋的な施設を増やしたり、静かにすることが窮屈にならないような、場所づくりや駐車場問題を解決すると、良いのではないのでしょうか。</p> <p>図書館に行った際、駐車場がなかなか空かなくて、あきらめたことがありました。保育園でも借してくれるといいですが古くなったら補助金で買い足しできる等、策がないと、園側もこまりますね・・・</p>	<p>図書館は、たくさんの本と出会える場であり、あらゆる年代の方が利用しております。近隣に図書館がない地域には、移動図書館車が店舗や児童館など市内各地へ赴き、本の貸出しを行っているほか、子ども未来センターや市民サービスセンターの子育て交流ひろば等、地域の身近な施設でも本と親しむことができる機会の充実に取り組んでおります。</p> <p>保育園等においては、読み聞かせを行うほか、園の本を貸出し、家庭でも様々な本やおはなしとふれあうことができるよう、読書活動の充実に努めております。</p>
2	—	<p>「図書館があるから活用させたい」という目的の推進計画であるように感じます。読書は大切で、学力の基礎となり、人生においても重要です。</p> <p>しかし、読書は「楽しみ」であり、「習慣」でなくてはなりません。</p> <p>他人によるものでは、一過性のものにすぎず、ノルマでしかありません。幼少期より、各家庭において取り組むべきものだと思います。親が読書をしている姿を見せることが一番大切です。家族を巻き込んだ計画が望ましいと思います。</p> <p>また、中・高生は読書以前に、やりたいことが山積みしています。</p> <p>学校も、読書の前に、がんばってほしい事がたくさんあります。</p> <p>「図書館の活用」から、計画を考えるのではなく、抜本的な所から、考えていく必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>子どもの読書活動を推進するためには、家庭・地域、保育所等、学校、図書館が連携しながら、子どもの発達段階に応じた取組を行い、読書習慣が形成されるよう努めることが重要と認識しております。</p>